

広げよう
2000万署名

山梨

250人分「威力すごい」

る人々に驚きや感動、勇気を届けています。

「話はずまなかったの
で、ダメかと思っていた」。
同労組に署名要請に行った
男性党員が振り返ります。

11月16日、男性党員と地
元の党議員2人の3人で組
合を訪問。事前予約なしに
もかかわらず、組合側は書

記長が応対し、4人でテー
ブルを囲みました。議員が
国民連合政府の提案を紹介
しますが、相手の表情は硬
いままでした。戦争法廃止
の署名用紙を書記長に手渡
してひきあげました。

訪問の契機は党支部の会
議で出された意見でした。

「2000万署名を呼びか
けている構成団体に連合は
ないけれど、全労連は入っ

ている。同じ労働組合だか
らお願いしてみよう」。以
前、同労組の執行委員をし
ていた男性党員が連絡係を
引き受けました。

訪問から1週間ほどたっ
たころ、同労組から電話が
入ります。「署名が集まっ
たので渡したいのです
が」。受け取りに行った男
性党員は、署名用紙50枚
(250人分)を受け取り
ました。

「しっかり集めてくれた
ことが、とてもうれしい。
連合の組合にも戦争法は憲
法違反だと思っている人が
いる。安倍政権には任せら
れないという思いがある。
山梨は保守の地盤が強い。
しかし、全国を見ると市民

主導の熊本ネットができた
ように、保守が強い地域で
も市民要求は存在します。
この町にもそんな共通項が
あると感じています」

山梨県の日本共産党支部
に少し早い「クリスマスプ
レゼント」が届きました。
党支部が戦争法廃止の20
00万署名を要請していた
連合加盟の労働組合が25
0人の署名を集めてくれま
した。

「とにかくビックリで
す。署名の威力はすごいで
すね。もっと広げたいで
す」。党地区委員会の女性
はその時の感動をこう話し
ました。戦争法を廃止した
いという思いは、団体や党
派の違いを超えて全国津々
浦々で広がり地元で活動す

共産党支部の要請に 連合労組がこたえた